

みんなの「なんな一?」を伝えるこども記者のための新聞

信毎こども記者ニュース

発行/信濃毎日新聞地域活動部 〒380-8546 長野市南県町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193

no.10

ひとの会話は宝物



「戦争のころ」を体験取材

第6回信毎こどもスクール「タイムラベル1945 あのころの宝物」が3月

14日、伊那市高遠町でありました。プリキのおもちゃコレクターの北原照久さんのお話や、太平洋戦争のころの暮らしや遊びの体験、白いご飯の代わりに食べた「代用食」の試食などの様子をこども記者30人が取材しました。

*こどもスクールについては、3月21日・28日付「こども新聞」でもこども記者が伝えています。



北原さんがコレクションしている4種類の首のポスターを、描かれている人の服装や文字などから推測して、古い順にならびかえるクイズに挑戦しました

体験! 首のポスターならびかえクイズ

ものを大切にすれば長く使える

このイコツも時計だよ! 森 恒大記者
ぼくが一番おもしろかったのは、犬の形の時計です。目の周りに目もりがほつてあり、時間がたつと目目が動きます。昔の人はとてもユニークな時計だと思います。北原照久さんが集めたコレクションの中で一番多いのがポスターです。ポスターは、時代によって人の表情が違ってくるので、明治や大正は目が一重で口をわけてわきをしめていて、昭和は、目が二重で歯を見せてわきを開いているポ



不二家の「フランシスカラメル」(1934年発売)のキャラクター名を募集する戦後のポスター

スターが目立つそうです。北原さんは、数え切れないほどコレクションを持っていますが、どれも金額まで覚えていて、なぜかというコレクションを集めるには、リスクがかかるので覚えていたと言っています。コレクションは、大切に保管すれば昔に買ったラジオでも使えるそうです。なので今売っているラジオでも大切にたつておけば500年ぐらいたつてもかえらな、と思いましたが、とてもいい話が聞けてよかったです。



糸から自分で作る昔のきもの

体験! 昔のきもの

岡島有希記者



わたしは、もんぺをはく体験をしました。もんぺはふだんきで、せんそう中はおしゃれやせいたくができません。わたしは、今では考えられないなと思いました。今はお店に行けば自分の好きなデザインのようなものが手に入るし、わたしはかいを見たことありません。でも、あまりじつかんがわきませんでした。

わたしは、もんぺをはく体験をしました。もんぺはふだんきで、せんそう中はおしゃれやせいたくができません。わたしは、今では考えられないなと思いました。今はお店に行けば自分の好きなデザインのようなものが手に入るし、わたしはかいを見たことありません。でも、あまりじつかんがわきませんでした。

コレクションのきっかけになったもの

榎原立冬記者

プリキのおもちゃコレクター北原てるひささんは、東京生まれで、はく物館はこんとろけん目かたそうです。今でも、11けんもつぱいしてきたそうです。てるひささんは、17年もほしと思っていた家に住んでいます。海にうかんだ白い家です。てるひささんのコレクションで、さいしよに手に入れたのは20才の時でした。それは、すてられた柱時計



です。すこしあがらさしてやると、動いたそうです。そして、きました時間になると、「ボンボン」と鳴って、今も動いているそうです。はじめて手に入れたおもちゃは、プリキの消ぼう車です。消ぼう車って火を消すけど、これは、ほくのコレクターだましの火をけたという前むきな人だと思えました。



体験! 昔の手作りおもちゃ

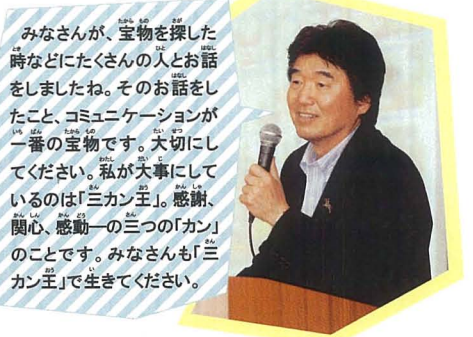


向南町の原田博夫さんが手作した昔ながらの竹とんぼや空気鉄砲などのおもちゃで遊びました

体験! 昔の代用食



お米が不足していたころ、こどもで作った「代用食」のさつまいも入りご飯とうすやきを食べました。こどものころの記憶をもとに、高遠のおばあさんたちが再現してくれました



みなさんが、宝物を探した時などにたくさんの人とお話をしましたね。そのお話をしたこと、コミュニケーションが一番の宝物です。大切にしてください。私が大事にしているのは「三かん王」。感謝、関心、感動—の三つの「かん」のことです。みなさんも「三かん王」で生きてください。

次の取材教室は... 戦争のころの“音”を取材しよう!

○4月17日(土) 13:30~16:30 会場=松本市立博物館(松本城横)

昔のラジオや古い蓄音機などを使って、いろいろな「音」を聴きます。また、約65年前の太平洋戦争のころ、小学生だった丸山年子さん(76歳)から、そのころの暮らしや耳にした空襲警報、松本に落ちた爆弾などについてお話を聞いて、記事を書いています。



申込はこちら 【対象】原則小学4年生~6年生 ※会場への行きと帰りは保護者の人と一緒に来てね 【定員】30人 【参加料】無料 【申込方法】郵便番号、住所、電話番号、名前(よみがなも)、保護者の人の名前、学年、信濃毎日新聞地域活動部「こども取材教室」あてに、ハガキ(〒380-8546長野市南県町657)、ファクス(026-236-3193)で申し込んでね。【お問い合わせ】信濃毎日新聞地域活動部 TEL.026-236-3110